

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	八幡7万人総活躍プロジェクト ～「健康」で「幸せ」を感じる「健幸都市の創生」～		実施期間	平成28年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の1人世帯が増加している。</li> <li>・急激な高齢化による介護及び後期高齢者関連経費が増加傾向にある。</li> <li>・社会環境やライフスタイルの変化による生活習慣病や高齢化に伴い、市民の健康に対する関心が高まっている。</li> <li>・消防団や女性防火推進隊に市民が参加し、八幡総活躍でまちづくりを進めていく必要がある。</li> <li>・「健康」で「幸せ」を感じられるまちにするため、人々が集える場所が必要である。</li> </ul>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康フェスタや健康マイレージ事業により、市民と協働しながら、高齢者等が元気に暮らせるまちづくりに寄与する。</li> <li>・高齢者が主体となって健康づくりに励み、長寿を謳歌できるまちづくりを目指す。</li> <li>・消防団や女性防火推進隊に市民が参加し、八幡総活躍でまちづくりを進め、また生きがいつくりの一助とする。</li> <li>・「健康」で「幸せ」を感じられるまちにするため、人々が集える場所、コミュニティ施設設備を整備する。</li> </ul>							
	総事業費（千円）	56,263	本年度事業費（千円）	56,263	交付金額（千円）	3,117		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	スポーツ公園・都市公園等ベンチリ ニューアル事業	交付対象事業	健康的生活を支え、公園利用を促進するため老朽化したベンチの更新を実施。		71基			
	市民体育館リニューアル工事	交付対象事業	利用者の安全性を保つため、床材の更新。備品更新		市民体育館床材更新、卓球台更新20台			
	公園遊具整備改良事業	交付対象事業	公園遊具を整備し、公園利用を促進することで、健康的生活を支える		遊具設置 5基			
	Let's camp!!!男山レクリエーション センター整備工事	交付対象事業	夏季の宿泊利用者増加を促進するための施設整備を行う		給水ポンプ交換工事、宿泊施設整備工事（火災報知器設置、冷蔵庫設置、エアコン設置等）			
	市民と共に 消防団・女性防火推進隊 活動支援	交付対象事業	消防団活動服等更新		消防団員活動服 350着 女性防火推進隊員防寒着 25着			
	次期ランドデザイン、第5次総合計 画の作成	交付対象事業	平成28、29年度の2カ年で第5次総合計画を策定し、八幡総活躍でまちづくりを進めていく。		グループインタビュー実施 アンケート調査の実施等			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

	地域福祉推進計画策定	交付対象事業	市が策定する地域福祉計画と市社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画を一括して策定する。	地域福祉推進協議会の開催 2回 アンケート調査の実施等	
住民協働事業	健康フェスタ開催事業	交付対象事業	ニュースポーツ体験、親子運動教室、京都ギネス（玉入れ）に挑戦等	参加人数 2,400人	
	健康マイレージ事業	交付対象事業	対象目標の達成者に健康マイレージポイントを付与し、健康づくりの動機付け及び運動習慣の定着を図る。	応募者 548人	
	八幡スマートウェルネスシティプロジェクト	関連事業	スマートウェルネスシティ構想策定支援業務、健幸クラウドシステム「見える化システム」の運用、コミュニティ運動教室運営	スマートウェルネスシティ構想策定、健康クラウドシステム導入、コミュニティ運動教室運営	
住民が取り組む事業	自治会総活躍！コミュニティ施設設備整備事業	交付対象事業	柿ヶ谷集会所、内里区公会堂改修	バリアフリー化工事、雨漏り修理、内装工事等	
	健康ウォーキング事業	関連事業	27年度作成した健康ウォーキングマップを利用し、「健幸都市」の創生を図る。	毎月第1土曜日の「ウォーキングの日」をPRし、ウォーキング実施を啓発	
成果指標①	成果指標の目標数値	健康フェスタ開催 来場者数 2,400人		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)	2,400人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値と同人数であり、前年度よりプラス300人の大幅増となった	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	公園ベンチ更新 70基		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)	71基
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を上回って公園ベンチを更新することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	「健幸都市」をキーワードに市民の健康寿命の延伸を目指し、生涯住み続けたいと思えるようなまちづくりに寄与した。「やわたスマートウェルネスシティプロジェクトプロジェクト」で人々がいつまでも「健康」で「幸せ」を感じ、いきいきと輝きつづけるまちづくりを進めることができた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	毎月第1土曜日の「八幡市ウォーキングの日」をPRし、市民主体の活動を推進することで、「健康都市の創設」に効果があった
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	毎月第1土曜日の「八幡市ウォーキングの日」のPR等により、市民の健康意識が向上した
	リーディング・モデル成果	健康マイレージ事業は、高齢者をはじめとする市民参加型の健康づくり事業としてモデルとなる。
	広域的波及成果	公園・体育館のリニューアルにより、高齢者が自宅や地域で暮らし続けられる環境を整備や健康づくりの動機付けができた。
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。